

平成30年8月1日

出雲市議会議長
福代秀洋様

陳情書

出雲市認可保育所（園）保護者会連合会
会長 橋崎智弥

多子保育家庭の同一保育施設優先入所制度構築の陳情

【趣旨】

同じ家庭の乳幼児を優先的に同一保育施設に預けることができるシステムの構築を求めます。

【内容】

乳幼児を抱える保護者は、出勤まで様々な用意に忙殺されています。毎朝の1分1秒が貴重であり、少しでも余裕ができるにはどうすればよいかと頭を悩ませています。また、兄弟姉妹が、同じ保育所（園）へ入所できないとなれば、各園児への精神的負担感も大きいものとなります。そのような中、定員オーバーのため、子どもを異なる保育所に預けなければならない家庭が、少なくとも50～60人近くいると聞いております。これらの家庭における時間的、体力的負担は多大なるものがあります。

各家庭の実情に合わせた保育施設への新規入所、中途変更（現在、兄弟姉妹が異なる保育所（園）への入所している場合における同一保育所（園）への中途変更入所の配慮）のルール整備をお願いいたします。

以上

議 会 第 4 1 0 号

平成30年(2018)9月27日

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会

会長 橋崎 智 弥 様

出雲市議会議長 福代 秀 洋



陳情の審議結果について (お知らせ)

平成30年(2018)8月1日付けで提出がありました下記陳情は、平成30年度(2018)9月定例会市議会において審議の結果、趣旨採択 になりましたのでお知らせいたします。

記

件 名 多子保育家庭の同一保育施設優先入所制度構築の陳情

【審議結果理由】

現在、市において、別々入所を解消するため、入所選考基準において加点をして、保護者の希望がかなうよう配慮されている。

同一保育施設に預ける制度化を行うことは、他の入所希望者に影響が出ることも危惧されるが、兄弟が別々の保育所へ入所している家庭の負担が大きいという願意は理解できる。